

浜坂病院 受診時の3つのお願い

- ◇1つ目 来院前に自宅で体温測定をしてください。
 - * 37.5℃以上の発熱時（平熱より高い熱の時）は、事前に電話連絡してください。
 - * 電話で診察場所等のご案内をしますので、病院に入らずお待ちください。
- ◇2つ目 病院内では必ずマスクを着用してください。
 - * マスクをお持ちでない方は、お近くのお店で購入してから入館してください。
- ◇3つ目 入館は午前8時（厳守）からですので、ご了承ください。

地域版「柝の実通信」を発行

最初のページに記させていただいたように、地域に根差した議員活動が十分にできていなかったとの思いから、2021年秋号外として下記の地域版を発行しました。9月議会終了後の編集となったため、多くの記事は記載させていただいておりませんが、ご希望があれば、お届けいたします。唯、もっと地域柄に合わせた発行ができればよかったと思っています。＜浜坂、三尾、大庭、久斗、諸寄、釜屋、居組、湯村、春來、歌長、井土、竹田、今岡金屋、熊谷、照來、八田、みあけ（奥八田）＞以上17地域

むだばなし

はじめまして。テンテンといいます。昨年

11月に、宇治市からやって来た元保護犬のビーグルです。背中とお尻のハートマークが目印の女の子です。どうかよろしくお願いします。

スヌーピーのモデルにもなったビーグルは、引き締まった体型が魅力の獵犬なのですが、地元産の美味しい食べ物に魅了された食いしん坊のテンテンは、朝晩ご飯一粒残さずペロリとたいらげ、今ではわが家に迎えた時の1.5倍に成長し（太ってしまいました）ました。只今、ダイエット中です。

ランニングのお伴と家族のお出迎え（ぐっすり眠っていて、出てこないこともしばしば・・・）、猪鹿からの畑の警備がお仕事です。

お散歩中に見かけたら、「テンテン♪」と声を掛けてやってください。アンテナ型のしっぽをフリフリしながら大喜びでご挨拶をしたいと思います。



どうなる？巨大風力発電プロジェクト



本町熊谷地区を中心に計画されている風力発電事業についての新たな情報は得られませんでした。

嬉しい出来事

金屋のTさんから桃の木の命を繋ぐ方法についてのご指導をいただきました。その際、モリアオガエルはオタマジャクシからカエルに成長した時期に親が迎えに来るので一斉に亡くなることを教えていただきました。Tさんは、30年以上モリアオガエルを見守っておられるとのこと、幸せな気持ちになりました。



10月10日、春來を訪ねた際、フジバカマの花に先日日本海新聞の記事に掲載されていたアサギマダラが群がっているのに遭遇しました。

以前、上山高原で出会った以上の多さに驚くと同時に、今年、我が家の畑に現れる蝶が少なかったことを寂しく思っていただけに、少し嬉しくなりました。

町政報告 2021年秋 第16号

柝の実通信

（ただちゃん つうしん）



新温泉町議会議員

かわ ぐえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土 978-1 TEL0796-92-2428(事)92-2550(自)

E-mail:take2428co@coffee.ocn.ne.jp http://take2428.com/



玉砂利が特徴的な「田井の浜」

9月27日定例会閉会

決算審査を主とする9月議会が無事閉会しました。

4年前、初当選させていただき、議員として精一杯活動させていただくことができました。本当にありがとうございました。常に目的を持って、説明できる行動や発信に努めました。

唯、皆様の思いを町政に繋ぐことができたのか、疑問です。そして、我が町全体の課題に取り組むあまり、細部に目が向けられなかったようにも思えます。

特に後半は、今まで経験のない感染症への対応により、町行政も振り回された感があり、影響が大きかった方々への支援も不十分であったと反省されます。

気になる 決算審査での注目点

令和2年度一般会計決算

昨年の9月議会で補正予算が認められなかった「温泉天国カフェ事業」は、事業主体の形態に異が唱えられたもので、不完全な修正ながら12月議会では僅差で補正予算が認められたものの、運営を担当する地域おこし協力隊員（3名）のみの一般社団法人が事業主体になることが3月議会で明かになり、公益性、持続性に欠けることを再三指摘しましたが、一向に改善が示されず、予算執行に瑕疵があるものと考え、決算認定に反対しました。

令和2年度温泉地区残土処分事業会計決算

昨年の3月議会で指摘した5万円程度の未登記用地の取得のための35万円の不動産鑑定料予算に関して、「不適切」との多くの意見が出され、減額修正しなかったものの当然執行しないと思っていたところ、担当課は「規定に従った」として予算執行し、顧みる姿勢さえ示されませんでした。一方、杜氏館の土地家屋は鑑定委託をせず、破産管財人との協議で価格が決定された例もあります。行政は一般通念から逸脱することは許されず、決算認定に反対しました。

※ 万一、決算が認定されなくても、特に行政への影響はありません。

監査意見

決算監査意見では、昨年同様、入札及び随意契約等の適正化等が掲げられ、行政のコンプライアンス徹底と公共調達による地域振興への配慮を根気強く求めていきたいと思っています。

一般質問「集落の活性化と公益活動支援への道筋づくりへ」

地方分権の意義に関する認識を問う

【町長】 地方に財源と権限を移譲することによって、地域にとっての遣りがいに繋がり、地域独自の活性化、独自色が十分出された地域づくりができる。

【河越】 中央集権は効率性を求める部分、また、地方が一律でない部分は、地方分権の構造が適切、有効だと思う。鳥取市を中核都市とする中枢都市圏もある種の地方分権だと思う。そんなことの中で、15年ぐらい前から地域自治組織が全国的に設立され、今、本町でも奥八田地域と八田地域で地域支援員を配置して地域運営組織としての活動が始まっている。これは、ある種の新温泉町における地方分権の一つだと思う。

地域運営組織の財源は十分か

【町長】 2つの地域運営組織については、モデル地域として徐々に活動を深めているが、財源は、まだまだ不十分だと考えている。

【河越】 人口減少が著しい中で、各集落が元気になれば若者の定着が増えると思う。各集落が元気になることが、新温泉町全体が元気になることに繋がる。そこで、地域運営組織や町の課題解決に取り組む活動に本町として支援すべきだ。

【町長】 本年2つの地区が宝くじの一般コミュニティ助成事業に採択され、事業を実施している。その他、町の地域振興補助制度もある。

【河越】 残念ながら、今まで一定の団体に対しての継続した補助制度はなかったと思う。しかし、地域にとって意義のある活動には継続した支援制度が必須だと思う。

地域活動・公益活動の効果の認識は

【町長】 春來地区の取組みなども大きな成果を上げていると思う。昨年度は、旧春來小学校の教室を使って、龍の絵の展示館ができた。これも、補助金により賄われている。公益性の高い活動には、様々な補助メニューが用意されている。それらが有効だ。

【河越】 兵庫県では被災地ボランティアの旅費・宿泊費等実費全額（20万円まで）支援の制度を設けている。これは、この支援を指定した兵庫県への「ふるさと納税」が充てられている。

本町の自主財源を増やすための方策は

【町長】 町税を増やすことが基本だが、「ふるさと納税」の活用強化に取り組みたい。特に民間の「ふるさと納税サイト」からではなく、直接寄付を増やしたい。

【河越】 「ふるさと納税」での団体や活動への指定寄付制度は有効だ。その他、交付税が減らされない都市計画税の導入や農地法の運用規定で別段面積を低く変更することにより、集落営農等での農家戸数を増やすことも可能であり、自主財源増に繋がる。



浜坂高校存続活動を本格化すべき

現状認識は 【町長】 アンケート結果では①浜坂高校に入学して良かった。②楽しい、遣りがいがある。③いろんな活動もできる。など充実した意見が圧倒的に多く、外から見た目と生徒の実感に差があり、PR不足が他校への流出に繋がっていることを感じている。また、地域で浜高を育てたいと思う。

存続の方策 【河越】 誰にも他校に進学したい生徒の思いを阻止すべきではない。浜高の存続は、選択される魅力や環境を整えることを方策とすべきだと思う。つまり本町が財源を用意して、本気で存続に取り組む必要がある。

町長の決意 【町長】 浜高の校長先生も出席する校長会などを設定し、地域の高校としての位置づけを明確にする取り組みを行っている。

方策の提案 【河越】 出生数が60人程になってきた状況から、複数学級を維持するためには、他地域の生徒の受け入れを可能にする寮の設置（遊休施設の活用等）などが必要だ。

浜坂地域認定こども園整備の課題

現在までの判断の経緯

この課題に議員として直面してから本年6月議会までは、その都度求められた採決において、建築家である私としての選択肢なき選択が続いてきたように思います。その際の判断基準は、その後の改善の可能性を残すということでした。（50分の1程度の防災的整備は不可欠です。）

3月議会には、現在地周辺と役場東側でのどちらかでの整備が提示され、6月議会で各候補地での整備に関する比較検討業務委託料の補正予算が提案されました。その際、こども教育課と町長の方針が対立していたため、比較検討業務に客観性が担保されたとの判断で補正予算を認める判断をしましたが、結局、6対9で補正予算は認められませんでした。（この議論も議会としての説明が必要だったと思います。）

この9月議会では、町長の意中になかった役場東側での整備にかかる環境調査業務委託料の補正予算が提案され、マイナス（荒）探しの業務委託になり、現在地周辺での整備を肯定することにはならず、公費の無駄遣いであるとの判断で、補正予算を認めない判断をしました。結果、5対10で補正予算は認められませんでした。

こども園整備検討の経緯

浜坂認定こども園は津波の危険性があるとの判断により、移転改築先の検討がなされてきました。

しかし、選定された候補地での整備ができなくなり、再検討している間に、津波の危険性はないとの情報により、改めて移転先が検討されてきました。（第2次整備検討委員会）

その結果、現在地東側拡張整備案が示されましたが、事前または垂直避難での整備しか示せなかったことから、議会の大勢は防災上に課題があるとの判断が示されてきたものです。



現在地周辺での整備における課題

現在地は1000年に1度の最大降雨並びに50年に1度の最大降雨（50分の1）においても、それぞれ床上浸水が想定され、1000年に1度の場合には現在の屋根さえも超える浸水が想定されています。

国・県は1000年に1度の最大降雨時の想定に関しては施設整備の目標にするものではなく、危険性に対する備えを啓発するものであるとの姿勢を示しています。

しかし、河川整備においては、50年に1度の最大降雨に対応させることを目指しています。また、国では、広域公共下水処理場について、大洪水時に機能が失われない又は復旧時間の短縮対策を検討するよう予算措置をし、浜坂と温泉の2箇所の中央浄化センターでの検討業務委託が発注されています。

つまり、こども園の整備においても施設として50分の1対応の整備は不可欠だと思います。西側への拡張であれば、職員さんの不安も解消できると考えています。

役場東側などでの整備における課題

町当局の提案では、整備費用の概算は両方とも約10億円であると説明しています。また、本町の施設は自治体の規模として、平均より約4割多いという分析がなされています。

大庭との統合はしないとの方針であれば、再度10億円を投じて、こども園を整備することになります。常識的には、矛盾があることに気付かれると思います。現時点で、両2園とも老朽化・耐震化、年少児保育環境整備を最大の目的とすべきだと思います。